

認知症を正しく知り、認知症の人や家族を温かく見守る「認知症サポーター」が高浜市には3,372人います。(H25.12末現在) サポーターの皆さんには、認知症の理解者として自分のできる範囲でのお手伝いや声かけをお願いしています。養成講座を受講していただくのですが、この講座の講師も市民の方です。

この「認知症キャラバン事業」は全国的に行われており、サポーターは全国で475万人を超えました。社会全体で認知症の人を見守る活動が広がりつつあります。「見守りは地域だからこそできる。自分も認知症になる可能性があるのだから、おたがいさま。」と協力してくださっている方は言っています。

市では、学校や地域の団体、企業や金融機関などで講座を行っています。地域で生活する人、働く人の理解と協力は、認知症の人の地域での生活に大きな支えとなります。ちょっとした配慮と声かけがあれば、認知症の人がひとりで食事や買い物に出かけることもできますし、認知症の人の家族はぐっと気が楽になるものです。

サポーターの皆さんには、目印としてオレンジ色のブレスレットをつけていただくのですが、お店の方、学生さんの中には身につけることができない人もいます。そこで、高浜市ではオリジナルのバッチを作成しました。

このバッチが、みなさんの身の回りにあふれるようになれば、認知症になっても安心して暮らし続けられますね。

オリジナルバッチ



市役所でも研修をしています。



小学校でのサポーター研修では、劇でわかりやすく伝えていきます。3年生からはうれしい感想が寄せられました。

『にんちしょうの人はすごく不安だとわかった』『こまっている人がいたらやさしく声をかける。たすけてあげたいです』『できることはやりたい』

認知症についてのご相談、サポーター養成講座の問合せはこちらへ

いきいき広場内福祉まると相談グループ
☎ 52-9610

刈谷医師会認知症市民フォーラム開催

～テーマ「地域で支える認知症」～

- 日時 6月1日(日) 午後2時～4時
- 場所 刈谷市総合文化センターアイリス 2階大ホール
- 講演 認知症これだけは知っておきたい、知っておくべきこと
～上手な介護、適切な対応が認知症の進行を遅らせる!～
- 講師 川畑信也先生(八千代病院 愛知県認知症疾患医療センター長)
※認知症サポーター養成講座もあわせて実施
- 費用 無料 ※申込不要

問合せ先 いきいき広場内福祉まると相談グループ ☎ 52-9610